

主な試験の種類

令和7年度実施予定試験を元に作成しています。受験資格や試験の実施時期・内容は変更になる場合がありますので、必ず最新の受験案内をホームページ等で確認してください。

試験・考査の種類 (1次試験実施時期)		主な対象者 年齢は採用時4月1日のもの	主な試験内容	
			筆記試験	人物試験
大学卒業 程度 採用試験	先行実施枠(4月)	①22才~30才 ②高等専門学校生 (一部技術職に限る)	SPI3 シート作成	個別面接 グループワーク
	通常実施枠(6月)		教養試験(一部職種のみ) 専門試験	個別面接 グループワーク
高校卒業程度採用試験(9月) 市町村立義務教育諸学校事務職員 採用試験も同時実施		18才~21才	教養試験(事務系職種のみ) 専門試験(技術系職種のみ)	個別面接
大学卒業 程度 キャリア 採用試験	ジョブ型採用枠 (年4回)	62才までの人で各職種に応じた 職務経験を3年以上有する人	書類選考	個別面接
	地域枠 (年4回)	62才までの人で社会経験や職種に 応じた職務経験を3年以上有する人	SPI3 書類選考	個別面接

※:大学卒業程度・高校卒業程度試験では、総合土木職をはじめ一部の技術職では教養試験がありません。
◎上記のほか、獣医師や文化財調査員、職業訓練指導員などの採用選考を別途行っています。

ここがポイント!

- 1 大学卒業程度試験の先行実施枠は、筆記試験は教養・専門試験に代え、SPI3で実施。特別な公務員試験が不要で誰もが受験しやすい!
- 2 大学卒業程度試験の一部職種では、最終合格から採用までの期間を最大3年延長可能! 就活を先に終え、留学や大学院進学など、自分のやりたいことに安心して挑戦できる!

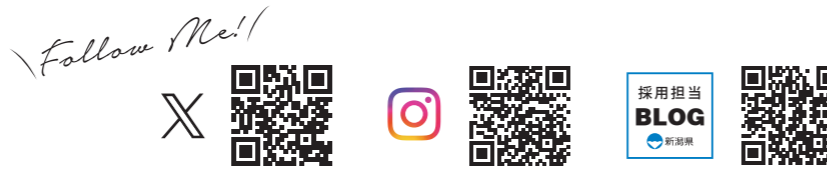
イベント年間プログラム

新潟県職員の仕事の魅力をもっともっと伝えたくて、1年間を通じてオンラインによるセミナーや若手職員トークセッション、少人数座談会などを企画しています。※以下は令和6年度の事例です。企画内容は変更になる場合があります。



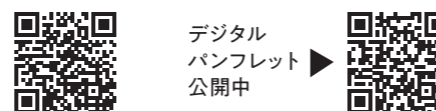
SNS発信中

プログラムの詳細や県職員のしごとの魅力などの就職活動に役立つ情報を随時発信しています!



お問い合わせ

新潟県人事委員会事務局 総務課 任用係
〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1(県庁16階)
TEL. 025-280-5538 http://www.pref.niigata.lg.jp/site/saiyou3/



デジタル
パンフレット
公開中

新潟県職員採用ガイドブック

あなたの想いと力が

新潟の未来をつくる。



IMAGINATION × CREATION
THE FUTURE
of Niigata

IMAGINATION × CREATION

THE FUTURE

of Niigata

変化が激しく、未来が見通せない時代。
だからこそ、私たち新潟県職員は、新潟の未来を“つくる”存在でありたい。
そのために大切にしたいことは、変化を恐れず挑戦を続けること。

新しい新潟の未来を描き、形づくっていく。
これが私たち新潟県職員の仕事であり、誇りとやりがいです。

そして、あなたが持つ新潟への想いと力が加われば、
もっと良い未来へとつなげることができるはずです。

私たちと一緒に新潟の未来づくりに挑戦しませんか。

CONTENTS

03 Our Work—私たちの仕事—

05 Job Category—主な職種と業務内容—

07 Career & Challenge—私が歩んできた道、私が挑む道—

09 Stories from senior staff—先輩職員による座談会—

11 Our Office—数字でわかる新潟県庁—

12 ワークライフバランスの充実

13 若手職員からのメッセージ

15 主な試験の種類／イベント年間プログラム

あなたの想いと力が新潟の未来をつくる。

新潟の社会を支え、形づくる。
これが私たちの仕事です。

ロングインタビュー掲載中
(QRコードからアクセス)

採用担当
BLOG
新潟県

#01



一般行政

農林水産部 農業総務課

二戸 優佳 令和6年度採用

VOICE

様々な角度から県民の暮らしや
事業に携わることができるのが、
新潟県職員の魅力です

Q.県職員を目指した理由を教えてください

人口の社会減により地元の商店街や地域の活力が失われ、地元の街が衰退していく様子を目の当たりにしたこと、また、大学3年生の頃に参加した新潟県庁税務課でのインターンシップにて、人口減少等による県税収の減少が県の予算編成にどれほど影響を与えているのかという現実を知ったことで、新潟県の最重要課題でもある人口減少問題の解決に携わりたいと考えました。

Q.県職員の仕事の魅力は何ですか？

農業保険制度を取り扱う県農業共済組合の業務内容などについて指導や検査を行っています。業務を通じて、農業者の方々が自然災害による収量の減少や品質低下、物価の高騰により生じる収入減少等へ農業保険を活用し、安心して農業を営むことができていることを知った時は、大変うれしかったですし、やりがいを感じました。今後は、県内の農業者の方々が安心して農業を営めるように、農業保険制度の加入者を増やすため、PR活動を行ってまいります。



#04

総合土木(土木)

村上地域振興局 地域整備部

齋藤 奨 令和5年度採用

VOICE

自然災害に負けないまちづくりをしたい

Q.県職員を目指した理由を教えてください

小学5年生の時に、東日本大震災を経験しました。テレビに映された東北地方の被災状況を目の当たりにし、自然災害による被害を少しでも軽減できるよう、安全・安心なまちづくりをしたいと思ったことから、土木技術者を目指しました。その中でも、現場だけでなく、地域の方や関係機関、受注者の方と調整を行いながら事業を進めることで、より地域に寄り添った新潟県づくりをしたいと考え、県職員を志望しました。



#05

総合土木(農地)

上越地域振興局 農林振興部

大越 柊綺 令和5年度採用

VOICE

形に残る仕事がやりがいになる

Q.県職員の仕事の魅力は何ですか？

自分が発注した工事で施工した水路や田んぼが形として残るところや、地元の方から農作業がやりやすくなったなど、直接感謝の言葉をいただけることです。県民の皆さんと直接関わり、意見を聞くことができるので、やりがいを感じることができる仕事です。また、関係者の方々への説明会や申請書の作成を通して、専門的な知識が増え、私自身の成長にもつながっていると感じています。



農業

新潟地域振興局 農林振興部

高橋 千尋 令和4年度採用

VOICE

新潟で農業をしたい人が増えて、
地域が元気になる流れを作りたい

Q.県職員の仕事の魅力は何ですか？

農業者一人一人の抱える課題だけでなく、地域全体が直面している課題にも取り組むことで、農業の分野から幅広く地域に関わることができることです。農業者や関係機関と協力して取り組んだことで成果が出たときや、「ありがとう」「助かった」と言葉がもたらされたときには、やりがいを感じられます。農業者を支援し、地域を盛り上げられるように、一歩ずつ頑張っていきたいです。



林業

農林水産部林政課

成田 周平 平成31年度採用

VOICE

どんな仕事にも柔軟に対応できる
森林・林業のジェネラリストになりたい

Q.県職員を目指した理由を教えてください

昔から自然や環境問題に関心があり、大学もそれらと関係の深い森林・林業に関することを学べる学部・学科を選びました。大学で学んだ知識を活かしたいという思いと、生まれ育った新潟県の力になりたいという思いから、県の林業職を目指しました。県の林業職は、森林整備や木材利用といった林業の振興から治山事業まで、幅広い分野で森林に携わることができることも魅力的に感じました。



#06

保健師

新潟地域振興局 健康福祉部

本間 小貴 令和3年度採用

VOICE

一つ一つの出会いを大切にしながら
自分自身の成長に努めていきたい

Q.県職員を目指した理由を教えてください

大学での保健所実習で県保健所が実施していた「難病患者家族のつどい」に参加したことがきっかけです。保健所保健師の担うべき役割のひとつである難病患者さんご家族の不安や悩みの軽減を図るとともに、同じ悩みを持つ居住地の異なる患者家族間の交流を支援している様子を見ました。そのような場面に立ち合い、県の保健師ならではの広域的な活動に感動し、新潟県の保健師を目指したいと思いました。

Q.県職員の仕事の魅力は何ですか？

家庭訪問時に患者さんやご家族から「今後のことについて前よりもイメージができるようになった。」「話を聞いてもらってスッキリした。」というような声をかけてもらうことがあります。患者さんやご家族が地域で安定した暮らしができるように関係機関と一緒に悩み、考えながら支援していく仕事に魅力を感じています。



Job category

主な職種と業務内容

様々な職種の職員があらゆる分野で
ワンチームとなって活躍しています

各職種の仕事は
採用担当ブログで連載中。



一般行政・一般事務

特定の部門や分野に限らず、県行政のさまざまな業務に従事します。各種施策の企画立案、地域振興、県税の賦課徴収、公共事業の用地取得などの対外的な業務から、予算、経理、庶務など内部的なものまで多岐にわたります。



警察行政・警察事務

警察組織に関する企画立案、会計・庶務業務のほか、鑑識や運転免許事務、コンピュータシステムの開発・運用、犯罪・交通事故の統計分析など警察独自の業務にも従事します。



病院経営

病院局の本庁又は県立病院等で、病院経営の企画立案、予算・庶務等の病院事務や、医療施策の企画立案等の業務に従事します。



学校事務職員

市町村立小学校・中学校等で文書や調査統計などの総務、学務、人事、給与、財務、福利厚生等の事務に従事するほか、学校組織マネジメントの視点から、学校経営に参画します。



環境

脱炭素化に向けた取組の推進、環境基本計画の進行管理、環境の監視、工場等への指導、理化学検査・研究のほか、高圧ガス施設等の保安や放射線監視業務等に従事します。



電気

発電所や工業用水道の運営、運転・維持管理業務のほか、県有施設の電気設備、通信設備の維持管理及び工事の設計積算・監督等業務、ICT活用・推進に関する企画・調整等業務に従事します。



保健師

県民の健康の保持増進・疾病の予防を図るため、市町村等と連携しながら難病対策や感染症対策等の施策を推進するほか、疾病や障害を持ちながら暮らしている方への家庭訪問や健康相談、災害時の健康管理など、幅広い業務に従事します。



農芸化学(食品・環境衛生)

本庁又は保健所等で、食品衛生や環境衛生に係る監視・指導、立入調査、試験検査等の業務に従事します。



福祉行政

児童相談所や保健所、病院等における相談援助・心理臨床、児童福祉施設等における直接支援、福祉施策の企画立案等の業務に従事します。



農地

誰もが未来に希望をもって農業に取り組める農村の創造を目指し、地元農家と調整を行いながら、水田・畑や農業用水利施設等の整備に関する調査・計画、設計積算、工事監督等、工事完成までの一連の業務に従事します。



土木

県民のくらしと命を守り、活力ある地域をつくるための道路や河川などの整備、地域の魅力を高めるためのまちづくりを担い、企画立案から設計積算、工事監督等、工事完成までの一連の業務に従事します。



林業

森林資源の利用促進や林業の振興等に向けた施策の立案・実施、担い手の育成指導、治山や林道事業の設計・監督、技術開発等の試験研究等の業務に従事します。



農業

農畜産物の生産振興、法人化など営農体制の構築、中山間地域農業の維持・発展に向けた取組推進のほか、先端技術の開発などの試験研究、農業者に対する生産技術・経営指導等の業務に従事します。



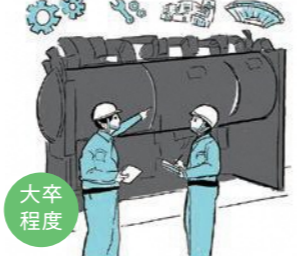
水産

水産業の振興を図るための企画立案・実施、資源の管理や漁場の造成、漁業担い手の育成等の行政業務を行うほか、主要魚種の資源調査や増養殖技術開発、魚病対策等の試験研究業務に従事します。



建築

建築物の確認審査や防災指導、公共建築物の整備など、建築物の安全や住みづくりに関する業務に従事します。

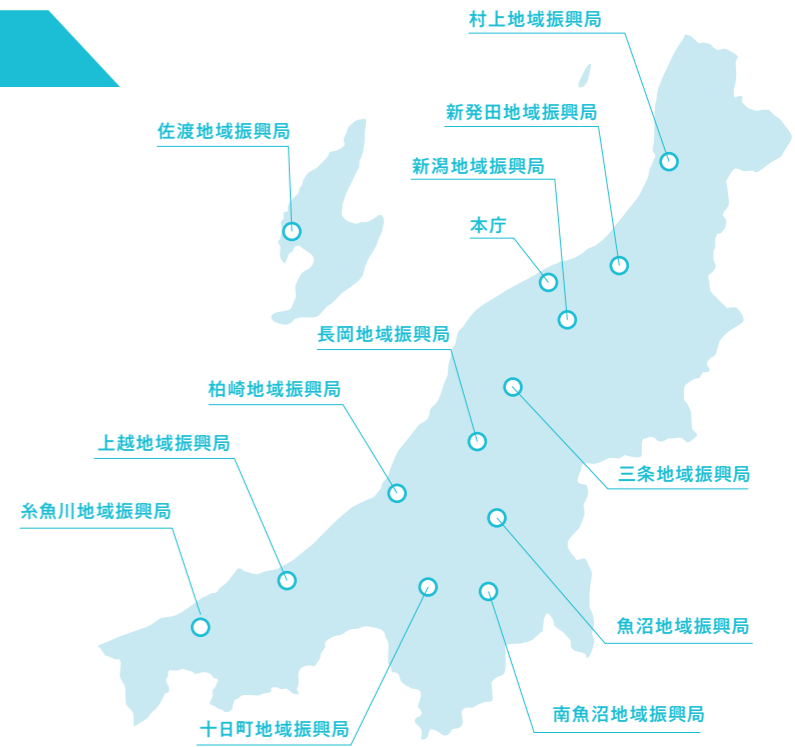


機械

県有施設の新築・修繕に伴う機械設備工事や下水道施設の機械プラント工事に関する計画・設計・工事監理等に関する施設整備業務に従事します。

新潟県全てが私たちの仕事の場

県の組織は政策の企画立案を担う本庁と
県民に身近な行政サービスを担う
12の地域振興局から主に成り立っています。
それぞれの地域の特色が輝く県内全域が
私たちの仕事のフィールドです。
仕事を通じて、まだ知らない新潟県の良さに
出会うことができるのも新潟県職員の醍醐味です。



新潟県庁SDGs行動宣言

「新潟県庁SDGs行動宣言」を策定し、新潟県職員が
「県政運営の視点から」と「県民の視点から」の2つの
視点を持ち、SDGs達成に向けて一丸となって取組を
推進しています。



大卒程度 大学卒業程度採用試験 高卒程度 高校卒業程度採用試験 選考考査 ※各採用試験の概要はP15をご覧ください

Career & Challenge

私が歩んできた道、私が挑む道

ロングインタビュー掲載中
(QRコードからアクセス)

採用担当
BLOG
新潟県



様々な業務に携わること
で得られた経験が宝物です

▶ 一般行政・課長職

神山 美幸

平成7年度採用

異動歴

平成7年	企画調整部統計課
平成9年	福祉保健部小出地域福祉センター
平成12年	総務部東京事務所(民間企業派遣研修)
平成13年	総合政策部ワールドカップ推進局推進課
平成14年8月	農林水産部食品・流通課
平成18年	知事政策局政策課
平成22年	産業労働部産業政策課 (財団法人にいがた産業創造機構派遣)
平成25年	産業労働部観光部商業振興課
平成26年	産業労働部観光部産業政策課
平成31年	交通政策局交通政策課
令和4年	教育庁財務課
令和6年(現職)	産業労働部地域産業振興課



Q.県職員として積み重ねたキャリアの中で、 得られたものとは何ですか？

「得られたもの」というのは、なかなか難しい質問ですが、敢えていうなら、これまで様々な業務に携わってきた「経験」でしょうか。関係者との調整が難航したことなど大変だったこともありますが、その反面、担当したイベントがうまくいったときや、担当した事業で事業者の方のお役に立てたときなど、充実感を得られることもありました。その経験があったからこそ今の自分があるのだと思います。

▶ 一般行政・主任職

岡村 駿介

平成26年度採用

異動歴

平成26年	土木部監理課建設室
平成28年	南魚沼地域振興局企画振興部地域振興課
平成31年	東京事務所(機電通派遣研修)
令和2年	福祉保健部医務事業課業務係
令和3年	福祉保健部感染症対策・薬務課業務係
令和6年(現職)	知事政策局広報広聴課企画調整係



Q.県職員としてのあなたの チャレンジは何ですか？

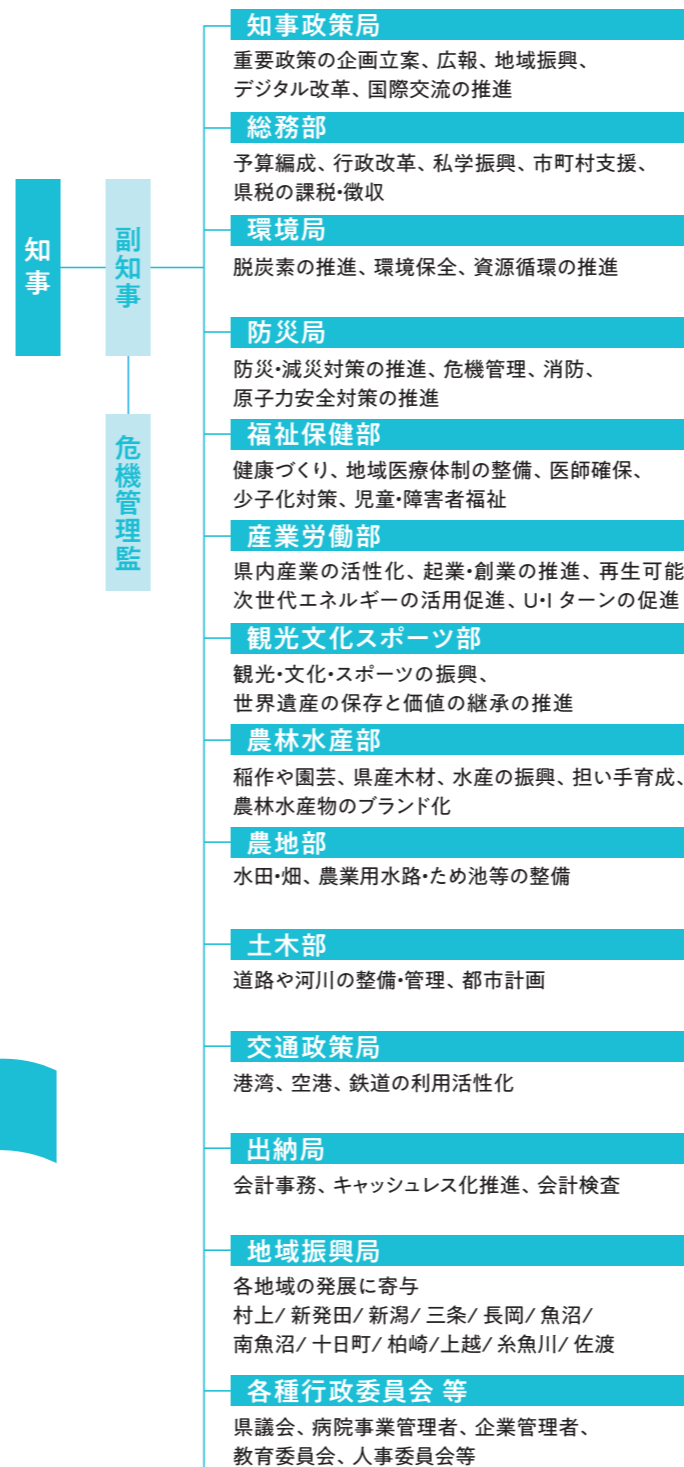
学びと成長、そして「新潟をこうしたい!」という思いを形にすることです。新潟県庁では、「若手職員による政策提案」事業など、新潟県が直面する課題に真正面から向き合い、提案に向けた調査・検討を通じて、必要な取り組みを考えることのできる環境が整っています。自分の担当業務を超えて、興味・関心のあるテーマを提案内容にできるので、自分が望むキャリア形成にもつながるはずです。



大好きな新潟の魅力を
多くの人に伝えていく

新潟県の組織図

新潟県庁では、様々な業務を各部局・委員会を担当しています。あらゆる分野から県民生活を支え、形づくっていくことが新潟県庁の仕事です。



若手職員による政策提案

若手職員のグループが、新潟県が直面する課題についてテーマを設定し、自主的に調査・検討に取り組み、政策提案を行っています。優秀提案に選ばれば、知事に直接プレゼンすることもできます。若手職員による前向きで柔軟な発想と創意工夫が求められています。

令和6年度の提案例

- 『縦型ソーラーシェアリングで地球も農家もハッピーな未来を目指して』
- 『新潟県の観光二次交通について～佐渡島内交通を題材として～』
- 『醸すNIIGATA～日本酒産業の発展、そして生まれる“アイシテルニイガタ”～』



派遣・出向制度

多様な経験を通じて幅広い視野や思考能力を身につけ、施策立案に活かすため、国省庁・他県・市町村・民間企業・海外・大学院等への派遣・出向機会があります(希望者を含め、広く職員の中から適任者が決定されます)。

近年の派遣先

内閣府、デジタル庁、総務省、外務省、財務省、静岡県、新潟市、阿賀野市、聖籠町、東京海上日動火災保険(株)、(株)三菱総合研究所、新潟経済同友会、中国黒龍江省、自治大学校 など

新採用職員研修

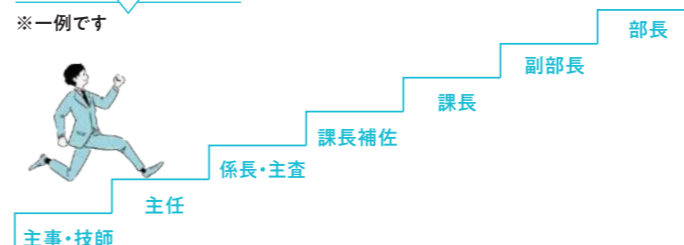
県職員としての意識を高め、社会人としての基本的なマナーや仕事の進め方を身につけるため、年3回研修を実施し、社会人としての第一歩をサポートします。また、集合形式による研修により、同期としての交流を深め、研修生同士のチームワークを育みます。



この他にも挑戦も成長もサポートする豊富な研修制度が揃っており、あなたの可能性が大きく広がります。

昇任モデル

※一例です



民間企業や市町村だけではできない、新潟の活性化へ旗を振るのが県庁

司会 今日新潟県職員の仕事を客観的に見つけ直してみようと、県庁から場所を変えて、三人の方のお話を伺います。民間企業出身の服部さんと県の研修制度を通じて民間企業で勤務経験のある渡辺さんと濱田さんにお越しいただきました。はじめにズバリお聞きするのですが、民間企業と比べて新潟県庁で働くことの魅力ややりがいはどういったところにあると思いますか？

服部 私は電機メーカーの営業職として働いていました。県での今の仕事は製品として形が残るような仕事ではないのですが、自分の日々の仕事新潟の社会を支えているという意識を持って仕事をしています。社会へのインパクトの大きさを感ずることができる

は県の仕事の魅力ですね。

渡辺 担当している観光業でいうと、民間企業のミッションの一つには、自社の利益確保があると思いますが、県における最終目標は「地域の活性化」です。県には民間企業や市町村だけではできない、県内全体の旗振り役としての役割があり、海外の方へのプロモーションなど、より広い視野を持って取り組めることが魅力だと思います。自分たちの仕事を通じて、地域の観光事業者の方から「インバウンドのお客さんが増えてきた」と聞いたときは、新潟のために働いているんだとすごく実感できました。

濱田 私は海外からバイヤーを招へいた商談会などを企画して、県内企業が海外で新たな取引先とつながるきっかけを作るのが仕事です。販路拡大も自らできる企業もあるのですが、自力での開拓がなかなか難しい企業の背中を押してあげることが県の役割であり、やりがいだと感じています。

地域・県民のためにチームで丁寧に仕事を進める

司会 県庁と民間の仕事の進め方についてどう違いを感じていますか？

服部 意思決定の進め方が違いますね。民間時代は担当者の判断である程度の仕事できました。一方、県庁では物事の進め方が丁寧で、「起案⇒レク(上司への説明)⇒決裁」というフローがしっかり組まれています。入庁当時は時間をかけているなど思いましたが、県の仕事は社会的な影響が大きいからこそ、丁寧に仕事を進めていることがわかりました。

濱田 民間では関係者を巻き込みながらスピーディーに仕事を進めることが多かったですね。県庁はじっくり調整しながら進める。そこは大きな違いだと感じました。

渡辺 私も同感で、民間時代は「予算内でどんな企画を立て実行していくか」が担当に大

部分を任されていました。一方で県は「地域や県民の方々のためにどうするのがベストか」を長期的な視点も持ちながら考える場面が多いように思います。

司会 みなさんの民間企業での経験は県庁の仕事にどのように活かされていますか？

服部 営業職をしていたので、人との関わり方やコミュニケーションの取り方は、県に入ってから役立っていると感じています。

濱田 民間企業のレスポンスの速さは意識しています。民間企業の良い面は小さなことでもどんどん取り入れていきたいと思っています。

渡辺 これまでの経験から民間と行政、どちらの視点も持つことで、関係者と良い関係を築き、連携しながら仕事を進められていると感じています。

司会 それぞれの仕事の仕方がある中で、新潟県庁ならではの「良さ」は何だと思いますか？

服部 県は複数人で丁寧に進めるからこそ、担当としての自分にはない視点から意見をもらうことが多く、チームとしてより良い仕事につながっているとも感じています。

濱田 意思決定のプロセスがしっかりしている分、担当としても自分一人で気負わず安心して仕事を進めることができますよね。

渡辺 安定した環境の中で様々な分野の仕事に関わり、短期的な目線だけでなく長期的な視点も持ちながら地域のためにじっくりと取り組めることも魅力です。

新潟の未来づくりへ、連携・協働する力が必要

司会 では最後に「新潟の未来づくりを担う、これからの県職員として必要な人材」について皆さんはどのように考えますか？

服部 県庁の仕事は市町村や民間企業と協力しながら進めることが多いので、積極的

周囲とコミュニケーションが図れることが大事だと思いますし、粘り強くやり抜く責任感も大事です。私自身もそうありたいと思っています。

渡辺 柔軟性も大事だと思います。新型コロナウイルスの影響もあり近年は様々な場面で変化を求められた時代でした。社会が大きく変化しようとするとき、柔軟に考えて挑戦していく意識を持つことがすごく大切なんじゃないかと思っています。

濱田 私が県に採用されてからの7年間の中でも県庁の仕事が大きく変わってきており、社会のニーズを見逃さない「アンテナ」を高く伸ばすことも大事だと感じています。

司会 時代も変わり、県の仕事は、県単独ではできない仕事が多くなっています。その意味でも皆さんがおっしゃった新潟に関わる様々な人や地域と連携・協働していくための力がますます重要になってきていると改めて感じました。貴重なお話ありがとうございました。

「新潟県庁だからできる仕事がある」 民間企業勤務も経験してきた先輩職員による座談会

転職や研修制度により大手民間企業での勤務を経て新潟県職員として活躍している三人。彼らだからこそ語れる新潟県庁のリアルとミッションとは。

平成30年度採用
濱田 樹
産業労働部産業政策課
令和5年度に民間企業等派遣研修により、東京海上日動火災保険株式会社にて中小企業支援を担当。



平成27年度採用
渡辺 菜々恵
観光文化スポーツ部国際観光推進課
令和2年度から2年間民間企業等派遣研修により、ANAセールス(現・ANAあきんど)株式会社にてエアライン航空券セールスのためのプロモーション業務を担当。



平成27年度採用
服部 瑛介
教育庁総務課
大手電機メーカーの通信システム営業部門に8年間勤務の後、「民間企業経験者採用(U・Iターン型)試験」(現・キャリア採用試験)により入庁。



ロングインタビュー掲載中
(QRコードからアクセス)

採用担当
BLOG
新潟県

Our Office

もっと
知りたい

新潟県職員

新潟県で働くことは
実際はどんな感じなのか？
その現実を数字で表しました！



新潟県庁
数字でわかる

1兆2,635億円

POINT 01

県庁だからこそその仕事のスケール

令和7年度当初予算額。200万人を超える県民生活を支える県庁だからこそ、あらゆる分野でスケールの大きな仕事があります。自治体は多くあれど、これだけの規模の大きな仕事があるのは新潟県庁ならではです。

POINT 02

たくさんの仲間と出会える

令和6年度新規採用職員数(警察官と医療職を除く。)。仕事の悩みの相談やプライベートと一緒にエンジョイできるのも同期。たくさんの同期と出会えるのも県庁ならでは。気の合う仲間を見つけて、仕事もプライベートも分かち合おう。

220人

average

11.5時間

POINT 03

時には残業も

令和5年度の職員一人当たり残業平均時間。残業時間は担当業務や時期によっても変化します。週一回の「ノーマルデー」の実施など、全庁挙げて働き方改革を実施中！

POINT 04

良い仕事は
良い休みから

令和5年度の年次有給休暇の平均取得日数。休暇制度はP12参照。休めるときには思いきって休む。リフレッシュが明日の良い仕事につながる。

13.7日

74.7%

100%

POINT 05

男性も女性も共に育てる時代

令和5年度育児休業取得率。女性職員の取得率が100%はもちろんのこと、男性職員も74.7%で年々上昇中。出産を控えた(配偶者のいる)職員に上司はきっとこう言います。「仕事の心配は大丈夫。もちろん育児取って！」

新潟県職員の「いいね!」スポット

先輩職員たちから
“職場のおすすめスポット”を
教えてもらいました。



県庁の森
庁舎に隣接する森。ウォーキングやベンチに座っての読書など、県職員の昼休みの憩いの場。四季折々の花も楽しめる。



展望回廊

新潟市内が一望できるパノラマは圧巻の一言。休日も一般開放されていて、元旦には初日の出も拝めちゃう。仕事で行き詰ったとき、ここからの景色を見れば、「新潟は自分が支えているんだ!」というモチベーションも上がるはず。

ハヤブサ、現る!

いつからか庁舎の高層階に住んでいるらしい。カメラを向けると余裕の表情。運が良ければどこかで出会えるかも。



ワークライフバランスの充実

仕事とプライベートを両立できる柔軟な働き方への取組を進めています。

多様な働き方

●業務へのデジタル利活用の定着

職員一人ひとりに配付されるモバイルPCはSIMカードを装備しており、テレワークや出張先での業務も円滑に行えます。職員間のコミュニケーションにはチャットツールが便利です。スムーズかつ活発なやり取りで業務の生産性・効率性も高まります。

●早出遅出勤務

標準的な勤務時間は午前8:30~午後5:15ですが、本人の希望で勤務開始時刻は午前7:00~午前10:30の間で30分単位で変更できます。通勤ラッシュを避けての出勤や勤務後の時間を有効活用したい方などにおすすめです。

休暇・休業制度

●年次有給休暇 / 年間20日 ※時間単位での取得も可能

●夏季休暇 / 7月~9月の間に5日間

●その他の休暇 / 結婚休暇、育児休暇、 家族看護・子育て休暇、介護休暇など

●育児休業

子どもが3歳になるまで原則2回取得することができます。また、男性職員の場合は、これに加えて、子どもの出生後8週間以内に2回まで取得することができます。

健康県庁宣言

職員が心身ともに健康で働きがいを持ち、能力を十分に発揮できる職場づくりを目指し、知事を「健康経営最高責任者」として、全庁を挙げて健康経営に取り組む。「健康経営優良法人2025」認定取得見込み。

Messages from seniors

テレワークを使えば仕事の効率もワークライフバランスもUP!

Q.担当業務を教えてください

地域振興に関する仕事をしています。主に、長岡・柏崎エリアの魅力発信や、新潟のアウトドア活性化に関すること等、様々な角度から地域住民・民間企業の方々と連携しながら、地域の活性化に取り組んでいます。

Q.働き方の工夫を教えてください

月に1回は在宅勤務をしています。打合せや外出が多い業務なので、在宅勤務を利用してデスクワークに集中する日を設けています。ひとりの時間が確保できる在宅勤務は、集中力を高く維持できるので、業務を効率よく遂行できます。また、趣味では県外に出かけることが多いので、年休を上手く活用してリフレッシュし、仕事のオン・オフをはっきりさせることで、モチベーションをあげています。

長岡地域振興局企画振興部 小山 舞優 令和2年度採用・一般事務



齊藤 聖平

一般行政
令和5年度採用

環境局環境対策課

パンフレットを見てくれた、そのあなたにこれからの新潟県をもっとよくなるにはあなたの力が必要です!県職員になってから一番驚いたことは、採用前に想像していたよりも多分野で新潟県の暮らしに関わっているということです。あなたの日常にも、新潟県庁が隠れているかも。受験勉強の息抜きに、ぜひ日常に潜む新潟県の仕事を探してみてください!同じ仕事を一生続けることも素晴らしいことですが、多分野のジョブローテーションを通じて経験を積み、多角的な視点からより良い新潟を創造していくことができるのは、県職員にしかできない仕事です!あなたと一緒に新潟県庁で働ける瞬間を楽しみに待っています!



瓜生 夢育望

一般行政
令和6年度採用

福祉保健部福祉保健総務課

「こんな仕事もやっているんだ!」という発見が毎日あるぐらいに、県庁は幅広い業務を行っています。私が担当している部の予算管理業務は、直接県民の方と関わる機会はありませんが、縁の下力持ちとして間接的に貢献できる業務です。漠然と「新潟県」のために何かしたいと考えている人にとっては、こんな貢献の仕方もあったのかという驚きを得られる職場だと思います!県庁なし公務員試験を受験する過程は、ある意味自分自身に「何ができるか」「何をしたいか」を考える貴重な機会になりました。その答えが新潟県庁にはあると思います!皆さんと共に働くことを楽しみにしています。



相田 涼乃

一般行政
令和6年度採用

防災局消防課

仕事を通して様々な角度から新潟県の新しい一面を発見できるのが県職員の魅力だと思います。私自身、配属された消防課の業務をこなすうちに消防や救急のことに少しだけ詳しくなり、日頃見かける消防士や救急車を身近に感じるようになりました。また、一般行政はパソコンに向き合う仕事と思われがちですが、県庁を飛び出して防災訓練の補助をしたり、PRのためイベントに出展したり、入庁前の堅いイメージとは違った幅広い仕事がありました。「新潟県が好き」「新潟県のために」という気持ちを持っているみなさん!その思いが新潟県をより魅力的にする力になります。県職員としてぜひ一緒に働いてみませんか?



和島 弘晃

福祉行政
令和3年度採用

福祉保健部障害福祉課

受験生の皆さん、こんにちは。私は採用4年目で、初めての異動で県庁に配属されました。県庁では、生活のスタイルに合わせて勤務時間や形態を柔軟に調整しながら仕事ができることや、業務中に行き詰った時には役職を問わず上司や先輩に相談できる雰囲気など、様々な魅力を感じています。福祉行政職には、企画立案・相談支援・直接支援という3つの職域があり、さまざまな職場・地域で多岐にわたる業務に携わり、幅広く知識やスキルを身につけることができます。また、同じ県職員だけでなく、市町村や地域の関係者など、さまざまな人のつながりができることも魅力の一つだと思います。ぜひ、福祉の専門職として一緒に働きましょう。お待ちしております!



私たちと一緒に新潟の未来づくりに挑戦しませんか。

このパンフレットを編集した若手職員からのメッセージ



小野 泰生

一般行政
令和3年度採用

糸魚川地域振興局農林振興部

新潟県庁には、キラキラした仕事も、コツコツ積み上げていく仕事も、対外的な仕事も、庁内へ向けた仕事も、全部あります。その中から時間をかけて自分のやりたいこと、自分に向いている分野を見つけることができます。つまり、各人に合った環境が見つかりやすい職場だと思います。特に行政職は、ジョブローテーションで多くの分野を経験することで自分の経験と知識に幅が生まれます。幅広い視点を持って社会問題に取り組めるのが魅力です。就職活動期間は将来への不安や悩みが尽きないと思いますが、悩み抜いたうえで新潟県を選んくれたら嬉しいです!新潟県庁でお待ちしております!



北上 和奏

一般行政
令和3年度採用

糸魚川地域振興局農林振興部

行政職の魅力の一つは、2~3年ごとに様々な部署へ異動し、幅広い業務を経験できることです。異動後は覚えることが多く大変だと思うかもしれませんが、その過程で得られる知識や経験は、自身の確かな成長に繋がります。また、どの業務も県民のために欠かせないものであり、県職員として自分が生まれ育った新潟県に貢献できることは、大きなやりがいがあると感じています。新潟県庁では、多様な職員がそれぞれの強みを活かしながら活躍しています。みなさんも自身の能力やスキルを存分に発揮できる場や、関心を抱く仕事が見つかるはず!将来みなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。



伊藤 優子

総合土木
令和3年度採用

長岡地域振興局地域整備部

学生の頃に参加したインターンシップで、県職員が仕事に対して熱意をもっていきいきと働いている姿を見て、私も一緒にこんな仕事がしたいと思い受験を決めました。総合土木で入庁し、現在は国道・県道の維持管理を担当しています。大雨の後などには状況を確認するために現場を見に行き、必要な対策をしています。自分の仕事が、県民の皆さんが安全に安心して暮らすことを支えているということにやりがいを感じています。学生の皆さんも、新潟県の安全・安心のために一緒に働いてみませんか。総合土木など一部の職種では、採用試験で民間企業とも併願しやすい先行実施枠の試験もあります。将来皆さんと一緒に働くのを楽しみにしています。



大平 拓也

農業
平成31年度採用

農林水産部畜産課

農業職の魅力は、デスクワークだけでなく地域での活動があり、農業者や関係団体の方々と直接お会いする機会が多いため、様々な業種・立場の人と触れ合えることだと思います。新潟県の農業をもっとよくなるために何ができるのかを本気で考えている人たちと協力して農業者が望んでいることを達成できたときにはやりがいを感じますし、そこから多くの学びや気づきを得て、県職員としても人としても成長することができています。来年度、新潟県に入庁してきた皆さんと一緒に、学び、成長できることを楽しみにしています!

